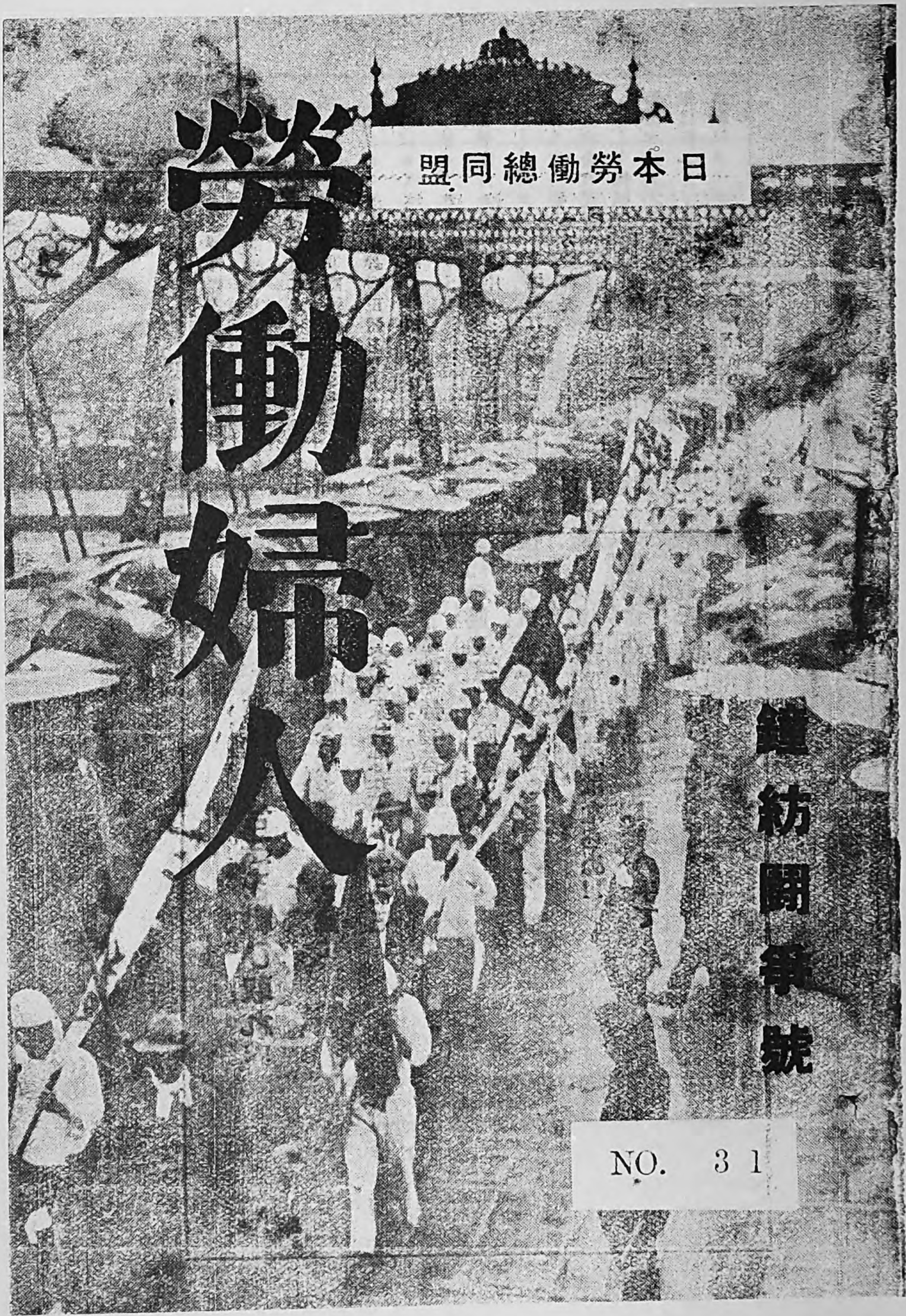
日本勞働總同盟

労働婦人

鐘紡鬪爭號

NO. 31



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

勞働婦人第三十一册目次

我等は勝てり…………
道は近きにあり…………二
鐘紡闘争畫報…………四
温情主義の正體を見よ…………一〇
姉妹はかくの知く生長した…一二
闘争旗の下に…………一四
鐘紡争議片々…………二〇
——遙かなる同志より——
戰へる友の姿…………二四
女工宿舎日記鈔…………二六
——機械の蔭にて——
鐘紡ゴシップ…………二八
母は狂ふ…………二九
表紙はメーデー行進の鐘紡争議團

勞働組合法を戰ひ取れ!!

勞働組合法を壓殺する爲に
資本家共は狂奔してゐる
我等勞働者は
決死の壓力で
彼等の挑戰に
戰ひ進まねばならぬ!!
勞働組合法を我等の手で
戰ひ取らう!!

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

我等は勝てり

（メーデー歌の譜）

赤松常子作

（一）敵鐘紡に敢然と
闘争こゝに五十日
プロレタリヤの城塞に
今こそ上る戦勝旗

（二）我等の血もて葬りし
温情主義の一角に
腕を組みたる労働者
巨人の姿あらはせり

（三）あゝ戦は勝ちてあり
我等のかざす旗風に
友よ叫ばん高らかに
未来は我等のものなるぞ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

道は近きにあり

—「團結」ただそれのみ—

一

我國の紡績勞働者は、今迄にかつて經驗したことのない苦難時代に當面いたしました。日本產業の中心は「紡績」である。「綿業立國」でなければならないと云ふ樣な自負心を持つて居た資本家も、此頃の益々深刻化する不景氣には、流石にヘコたれて居ります。

實際「紡績」は、我國の產業の中心で最も「もうけ」の多い產業でありました。然し、それは何十萬人と云ふ紡績勞働者が、安い勞働賃銀で、長い勞働時間（遂先年迄は深夜業もあつた）働いた結果であります。この紡績勞働者の搾取の上に立つて、資本家は莫大な「配當」を行つて來ました。勞働組合に對しても、紡績資本家が、一番頑迷に壓迫し、勞働者の待遇改善運動を蹂躪しました。

二

ところがこの「もうけ」の多い紡績事業も、金解禁の打擊や、綿の値下りや、銀の相場が下つて支那人が綿糸綿布を買はなくなつたことや、印度の綿布關稅が上つたことや、不景氣で日本內地でも品物が賣れなくなつたこと等の色々な原因の爲めに、今迄の樣に「もうか」らないことになつて、昨年の二月から一割七分二厘

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF IOWA

の操短を行ひ、更に今年の六月から一割を加へ、日曜毎に休日にしたり、機械に封印したり、解雇をしたりして、猛烈に勞働階級にその犠牲のぬり替へをやつて居ります。これか爲めに、勞働者の收入は激減しました。失業者は恐らく何萬人と出るでありませう。然も、紡績會社の中には、その積立金を以つて、高率の配當を續けて居るものもある有様です。

三

「紡績事業の華かなりし頃」は、その舞臺の下敷となり、綿々たる「哀史」を綴つた紡績勞働者は、一朝不況の嵐が吹き來れば、更に恐るべき生活地獄に突き落されるのです。

然し、これは一體正しいんでせうか。否。これが正しくないことは、三歳の赤兒も知つて居ります。それならば、なぜ正しくない事が行はれるのでせうか。もとより資本家階級が、道理を無視し、人道を解しないからだと云ふ事が出來ます。然し、尚それよりも、私共紡績勞働者が、餘りに無力だからであります。餘りに無自覺だからであります。

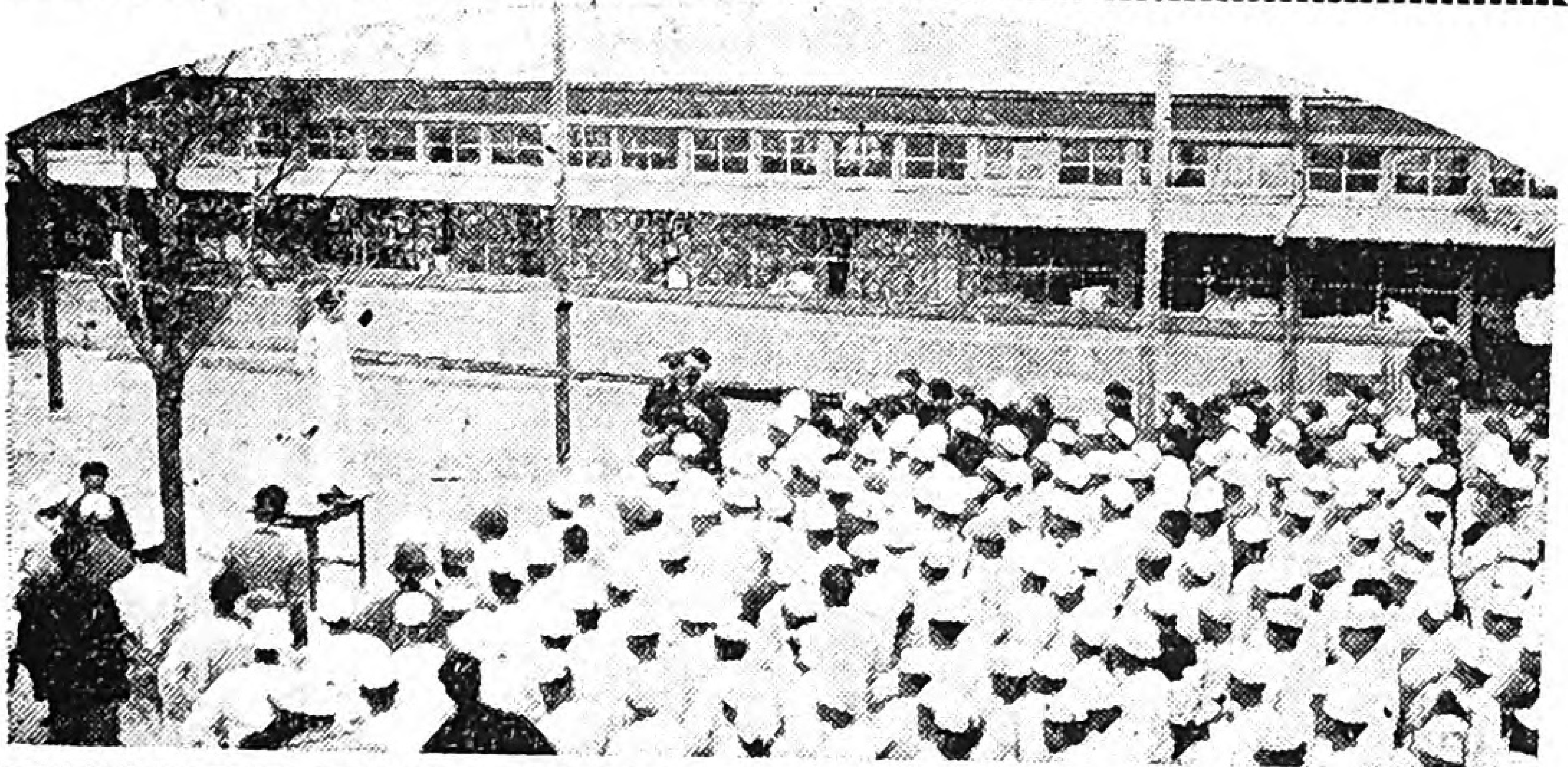
「求めよ、さらば與へられん」と云ふ言葉がありますが、我紡績勞働者は、果して強く「人間らしい生活」を要求して居るでせうか？

四

およそもの、原因は、他にあるよりも、自分自身にあります。悲惨なる紡績勞働者の苦難を打開するものは、私共自身が眞に、その立場に目覺めて、目覺めざる同胞をゆり起し、勞働組合の旗の下に、強い團結をなさしむることであります。これ以外に道はありません。古い道でありますが、同時に新しい道であります。堂々たる紡績勞働組合が出來上つて、紡績聯合會と團體交渉が行はれる様になつてこそ、始めて紡績勞働者に希望の光が射して來るのです。（齋藤健一）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

鐘紡闘争画報

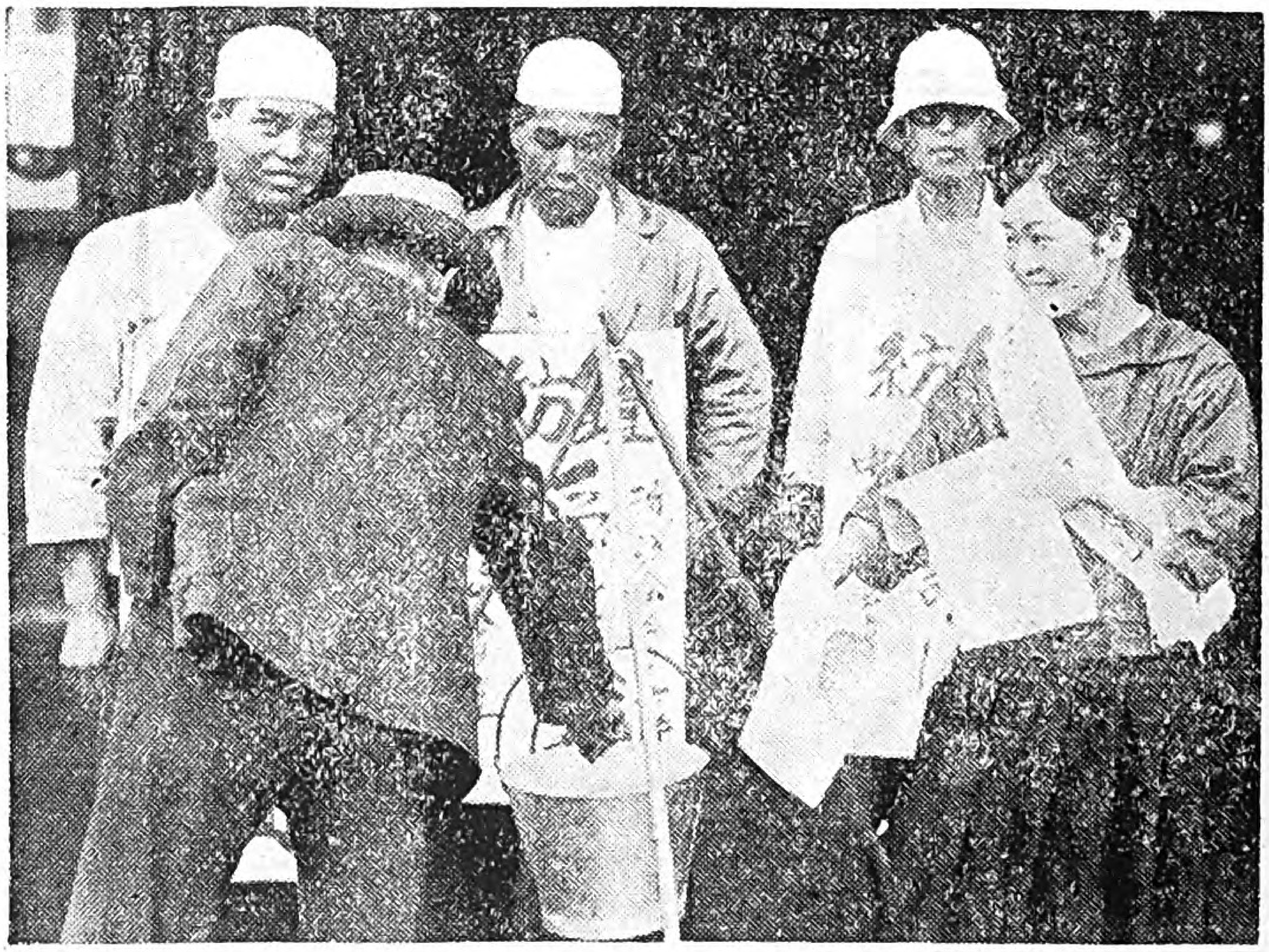


上　四割値下と云ふ殺人的暴擧に先づ反對の一矢。淀川工場一千名の同志は四月十日午前十時半工場内に従業員大會を開いて値下撤回の要求を出すことを決議しました。

下　會社は無誠意にもこの要求を拒絶したので「それならば」といよいよストライキを決意して同日午前十一時一齊工場を脱出しました。救はれた籠の鳥のやうに嬉しさうな同志の顔が見へるではありませんか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

右 爭議中に解雇するは不都合だと解雇通知を突返しました。まん中の困つたやうな顔をしてゐるのが淀川工場の平賀工場長です。

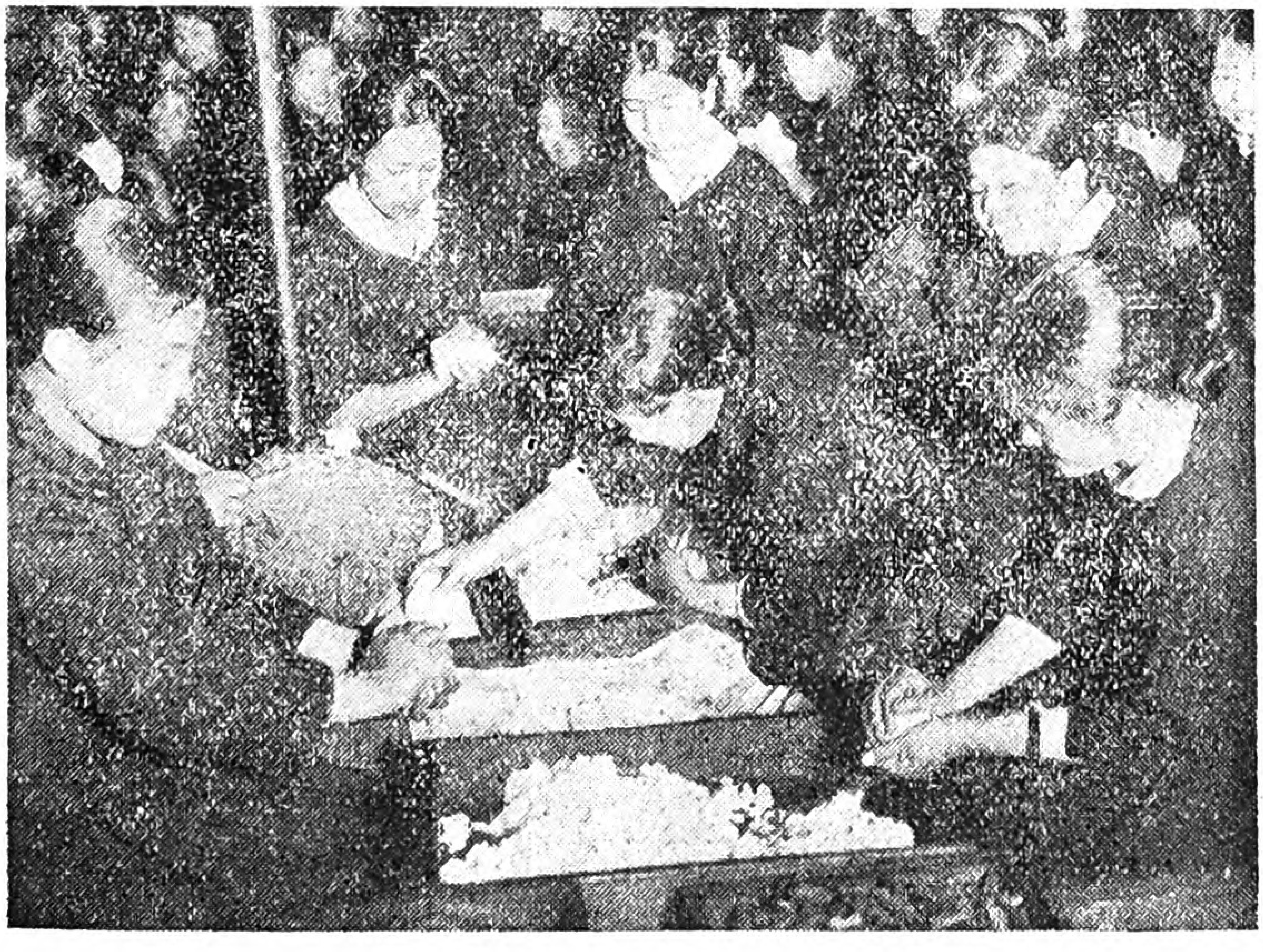


上 一日に費用が六百圓もかゝるのだもの。この巨額の費用を調達するには隨分苦心しました。寫眞は街頭で爭議基金を募集してゐるところ。但しこれはすぐ官憲の爲めに差止められました。

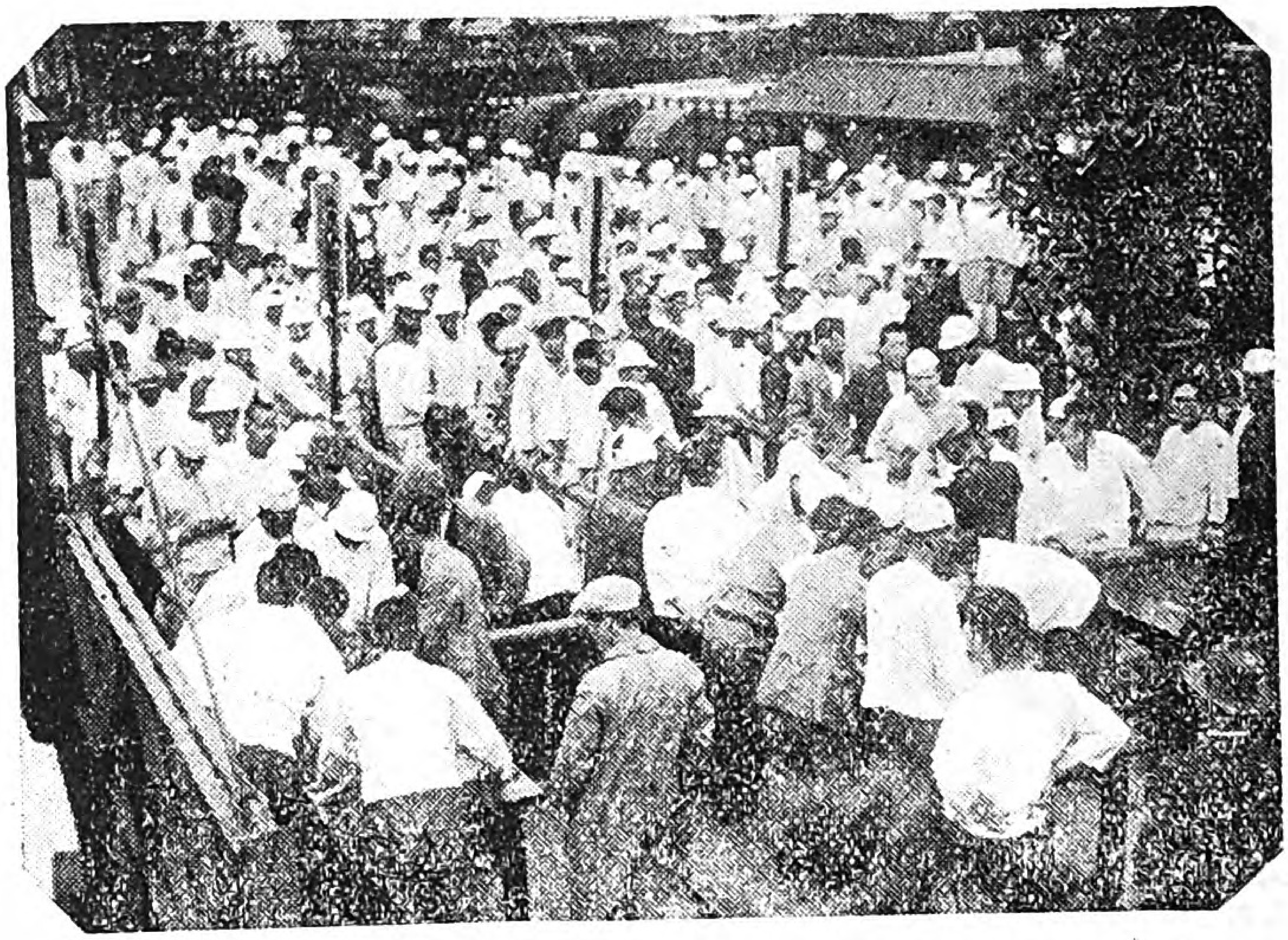
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

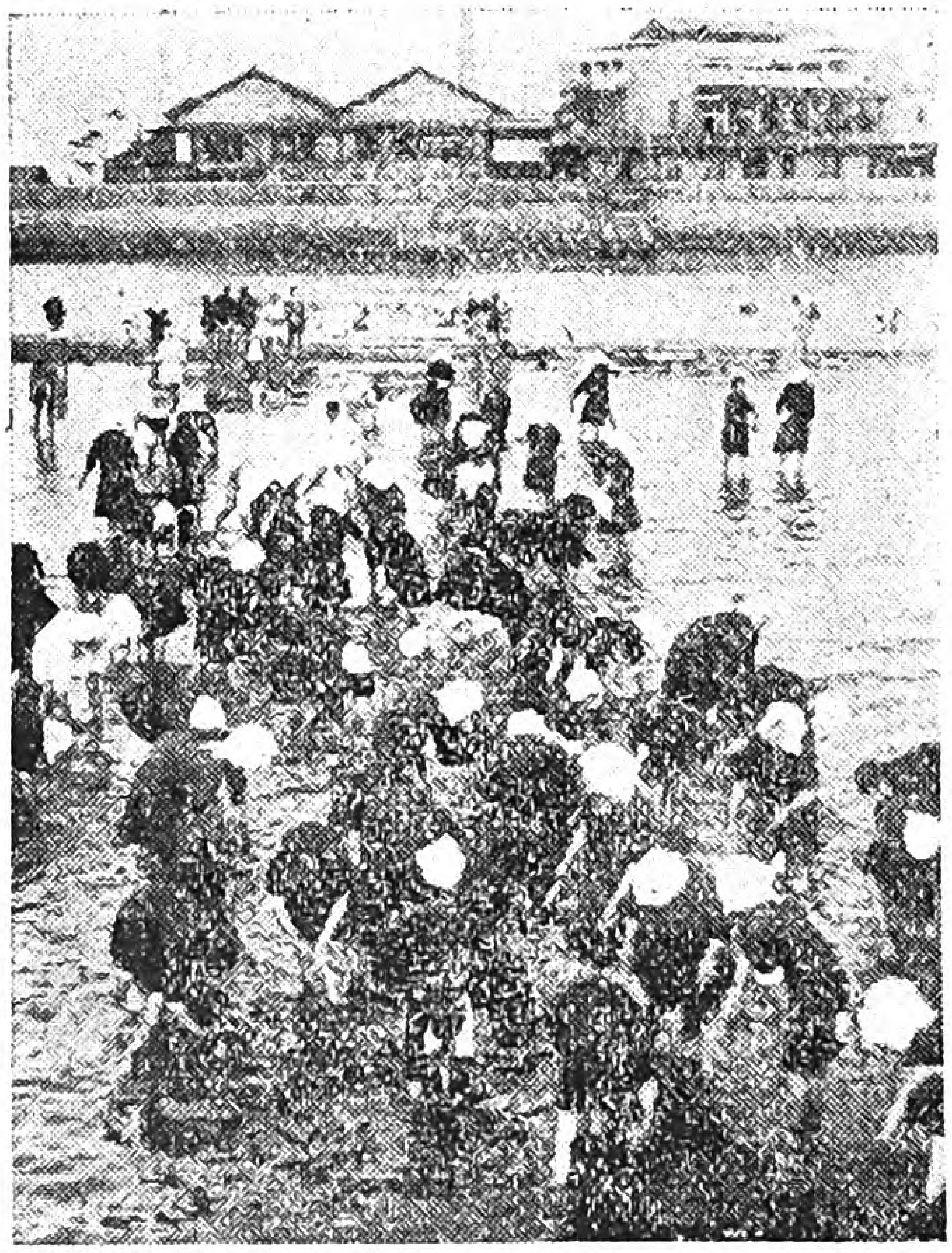
上　指令本部たる大阪市北區樋口町の總同盟大阪紡織勞働組合事務所から兵糧米を運搬するところ。

下　戰には彈丸を。といつたところで驚くことはありません。胃の腑に打込む彈丸即ち第一線の闘士に送るおむすびを女工さん達がつくつてゐます。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA



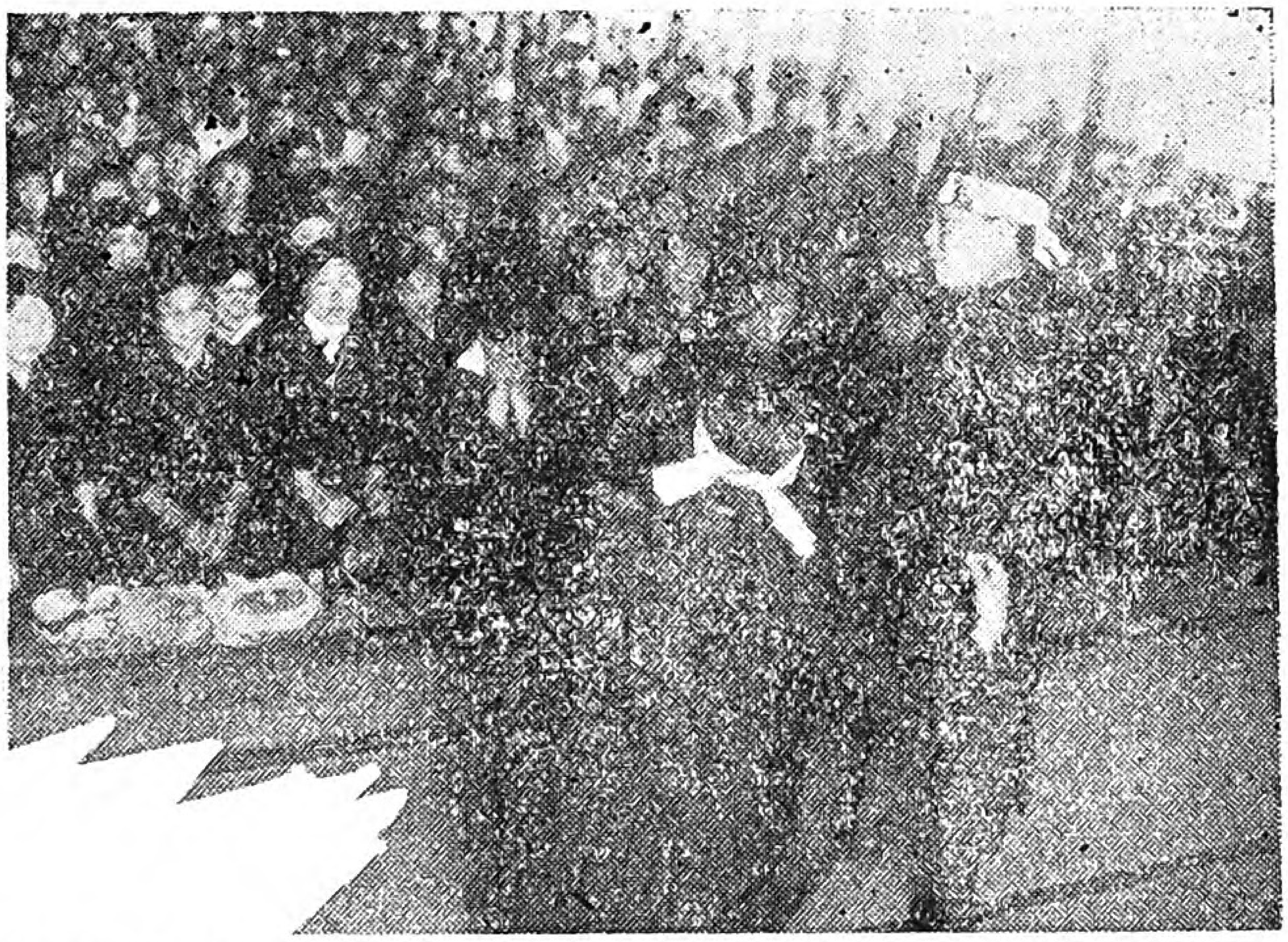


上　四月二十九日爭議團では給料の殘りを受取りました
會社はこの給料支拂を罷業切崩に利用せんとしたが
その手には乘りませんでした。

左　連日の戰ひの疲れを慰やす爲め爭議團では大阪北築
港外で汐干狩を催しました。若き同志が此日ばかり
は何もかも忘れて愉快に過ごしました。

Digitized by Google

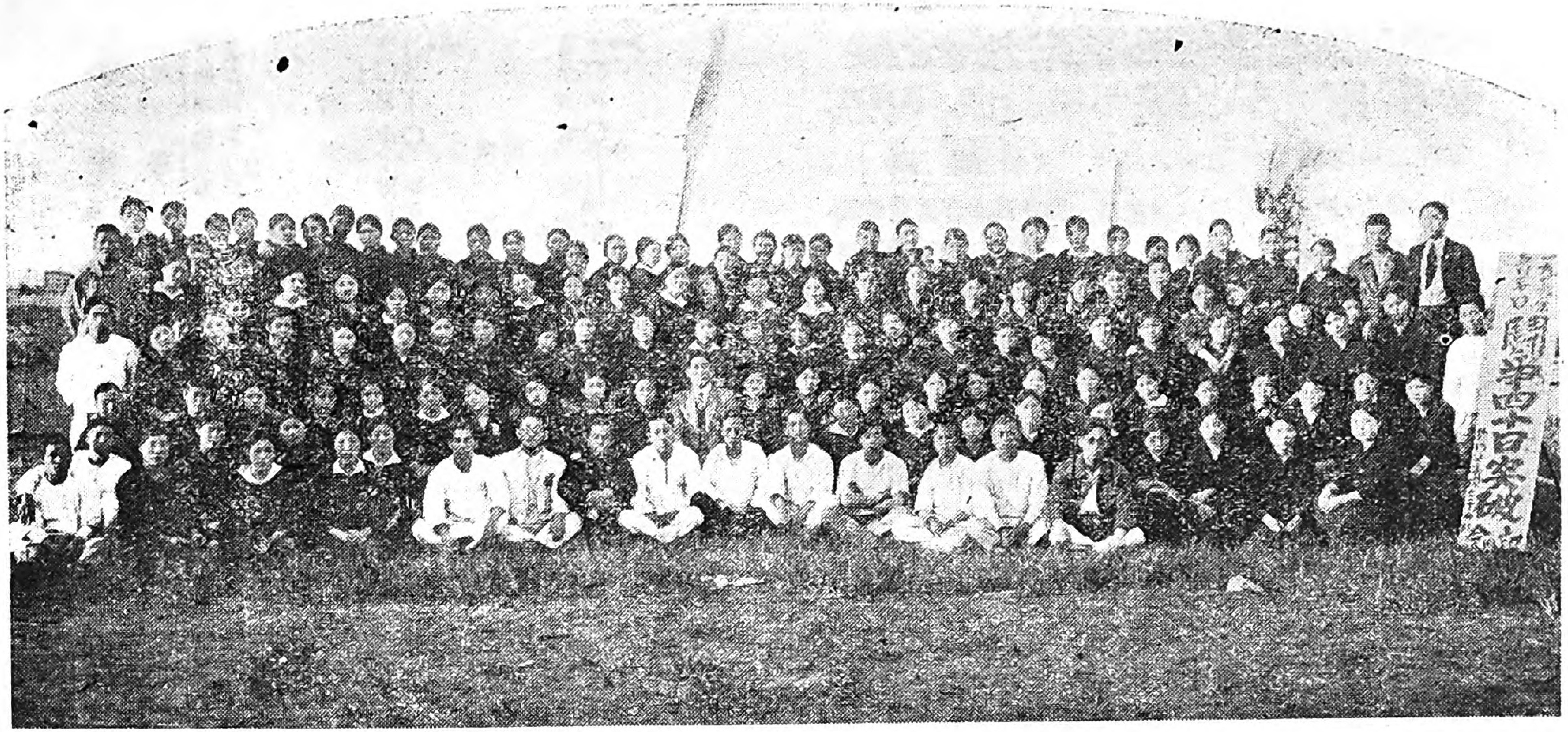
Original from
UNIVERSITY OF IOWA



上 籠城中に同志はいろいろの催物をしましたがこの寫眞は同志が自らつくつた劇を自ら演出してゐるところです。あまり眞に迫つたので見物の一人なんかは泣いてゐるではありませんか。此の劇は一般市民にも公開しました。

下 官憲の壓迫がひどいので五月十四日争議團の井家上副團長以下の女工代表者は大阪府廳に藤原警察部長を訪ひ嚴重抗議しました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA



會社のあらゆる切崩し逆宣傳にも拘らず同志は一糸乱れぬ結束の下に四十日を戰つて來ました。でそれを紀念し
併せて争議中では入營する中馬君（女工宿舎の警備隊長）を送るために集つたのが此の寫眞です——五月廿日撮影

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

温情主義の正體を見よ

『同じ紡績に働くなら、天下の鐘紡程の工場に働きたい』とは、一般の紡績労働者の念願であつたのだ。その鐘紡に火がついた。温情主義は焼け落ちた。そして醜い殘骸が白日に曝された。見よ。その待遇のいかに劣悪かを。（鐘紡大阪淀川工場の例）

給料

		男工部	女工部
初給	最低	三五錢	三二錢
	最高	七〇	五〇
現在給	最低	四一	三五
	最高	一〇六	七〇
	平均	六二・五	四七・八
七割手當加算實收		一〇六・二五錢	八一・二六錢
四割削減後の實收		八一・二五	六二・一四
四割削減後の減收額		二五・	一九・一二

食事

食費は、男工一日二十錢女工一日十五錢の割となつてゐる。五月初旬の或週の獻立表を左に示しま

す。

	朝	晝	夕
月	味噌汁 實 わかめ	菜葉と揚げの煮物	天ぷら
火	同 同 あげ、	菜葉千切大根の煮物	鰯
水	同 同 あげ	菜葉の煮物	こんにやく煮〆
木	同 同 わかめ	したし	揚の煮〆
金	同 同 大根	煮豆	大根の煮〆
土	同 同 菜葉	ひろずの煮〆	鹽鮭
日	同 同 わかめ	肉と馬鈴薯の煮物	すまし汁 實豆腐

米は日曜日丈は白米。(白米は朝鮮米と臺灣米の混合米で三等)其他は半搗米である。香物、梅干、ごま鹽は丼に入れて一つづゝ食卓に置いてある。

温情施設

淀川倶樂部の設けがあつて、入社と同時に全男女工は入らねばならぬ。會費は男二十錢、女十錢で、この麻醉藥で、全ての勞働者の自覺をにぶらせるのである。男女兩部に左の部が設けてある。

女工部
生花部　音樂部　卓球部　御詠歌部　俳句部　習字部
裁縫部　英語部　琵琶部　謠曲部　信仰部(日蓮宗、眞宗)

男工部
野球部　庭球部　卓球部　柔道部　弓道部　劍道部
圍碁部　將棋部　謠曲部　尺八部　スポーツ部　信仰部(前と同じ)

寢具はカーバーがかけてあつて、月二回洗濯する。寄宿舎の疊二疊に一人の割。風呂の設備は、最近五千三百圓もかけてとても立派なものを作つた。病氣になると、二三日位休む者は休養室に移される。少し重いと病室に入る。肺病の者は、全國の鐘紡工場から集めて兵庫縣高砂の鐘紡高砂療養所に入れる。一旦入つた者は全治する迄見て呉れるが、仲々入らせないで、大抵は國元へ追ひ歸へさせられる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

姉妹はかくの如く生長した

温情主義の温床に育つて來た鐘紡の姉妹が、一度その假面を引き剝いで鬪爭こゝに四十五日目だ鬪爭の體驗は、姉妹を階級的に生長さした。その一端の記錄を左に掲げる。當日左記の一から六迄の問ひに對してそれ〲の記入を求めたものである。尙紙面の都合でその主なるもの文を掲げる。

（一）一番嬉しかつたこと

一、父兄が諒解して呉れた事　三〇

一、赤松常子さんが指導して下さつた事　一七

一、メーデーに參加した事　九

（二）一番悲しく辛かつたこと

一、同志の裏切り　五四

一、國元から會社の手にのつて父兄が切崩しに來た事　一八

一、親達がどうしても理解しない事　九

（三）爭議以前と爭議後と、どんなに心持が變りましたか。

一、爭議前は只會社にへい〲と頭を下げてゐたが、之からはしつかりやる　三三

一、以前はストライキと、勞働組合と云ふものは怖いものと思つてゐたが、爭議

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

に参加して恐ろしくなくなつた。　一四

一、争議前は社會の事が何も解らなかつたが争議になつて、自分等は勞働者で、資本家に搾取されてゐる事が解つた。　一〇

（四）勞働組合をどう云ふ風に考へますか。

一、勞働組合は勞働者になくてはならぬものと思ふ。　一八

一、勞働組合はいゝものと思ふ。　一六

一、今迄は勞働組合を恐ろしいと思つてゐたが、入つて見てその有難さを知つた　一四

（五）無産階級として將來どうしたいと考へますか？

一、此の世の中を勞働者の世界にして、平和にしたい。　一五

一、組織をもつと發展さして、勞働階級の發展につとめたいと思ふ。　一〇

一、無産階級として、團結して行きたい。　八

（六）あなたの故郷に農民組合がありますか。父兄は入つてゐられますか？

一、なし、入つてゐません　二〇

一、あります。しかし入つてゐません。　一四

一、あります。入つてゐます。　四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

闘爭旗の下に

—鐘紡爭議團女工合宿所だより—

ストライキの第一日

藤田よし江

二三日前から『不景氣だ。四割値下げだ』と、人々の口からは絶間なく噂されてゐた。それもいよ／＼四月十日をもつて破れてしまつた今日こそ待ちに待つたストライキの第一日だ。九日の夜青龍館の從業員大會へ話を聞きに行つた時の勢は大したものだつた會社の事務所の人々は大聲で止めたけれども、私達は耳もかさず從業員大會に參加した。午後十時頃寄宿舍に歸ると、一同を集めて津田副社長に話を聞かされた。『皆は勞働組合の話を聞く必要はない。內輪の出來事は內輪で收めればいゝのである。第三者に相談してはいけない』と。

不安と恐怖の一夜が明けると寄宿はざわめいてゐた。『本日は休業』であると聞かされた。今日は食堂で食事をさせられず、廣間へ運んで來てたべさせられ、部屋に歸ると男子が玄關へ迎へに來て呉れた。その時の私の胸は高鳴つた人事係の見張りや暴力團の隙をねらつて靴を片手にどつと皆で飛び

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

出した。ストライキを知らない私は、不安な様な嬉しい様な面白い氣がした。そして四割値下げを思ふと腹が立つた。いよ／＼工場を後に門を出た時の私の胸には固い／＼決心が浮んだ。もう門を出た限りこの爭議に勝つ迄は二度とこの寄宿には歸るまいと思つた。又憎い社長をやつつけてやらうと思つた。共同一致して鐘紡や武藤山治と戰ひませう。皆さん！

マ ツ エ

病院にて

私は二三日前から同志の病氣の附添ひに病院に來てゐます。朝ふと眼を覺ますと、憎い鐘紡淀川工場の汽笛が鳴つてゐるのです。側にねてゐる病める友に

『今はあの汽笛を聞くのもいやですね』

と云ひつゝ藥をすゝめました。窓を明けて見てゐると爭議指令本部へ大勢の同志達が兵糧米を引いて送りこんでゐました。『軍用米。大阪金屬栗本支部』と小旗が立てゝありました。私があんまり力を入れて喜こんで見てゐたので、友も起きて喜びました。私等の爭議を勝さんが爲にあんなに澤山の軍用米をどし／＼送つて下さると思へば、私は嬉し涙が出ました。私は友と固く手を握つて最後迄戰ふ事を誓ひました。

濱田清子

炊事當番

四月二十六日、今日は私の炊事當番でした。午前五時半に起き顔を洗ひ炊事の方へ行きました。雨がしと／＼降つてゐました。雨の中を一番にお米を磨ぎました。御米を磨ぎ乍ら母や弟の事が思ひ出された九時頃から朝の食事が初まり十時頃に終りました。赤松さんや他の幹部の人が『今日の御飯はよく出來て居る』と褒て呉れました。それから晝の食事の味噌汁を皆さんがおいしく喰べてゐるのを見て嬉しく思ひました。私がたべる時汁をひつくりかへして赤面しました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA

三時から四時の間に京都争議團の同志が來て激勵されました。勞働歌の練習もありました。始めて炊事をして床に入る時今日の事が思ひ出されて、嬉しかつたのです。

悲しい一日

井上輝子

あゝ思ひ出せば四月十七日、其日は私にとつては一番悲しかつた日であつた。それは國からお父さんが私を迎へに來て私に

『どうか御父さんと一緒に歸つて呉れ』

と云ふのです。けれども私は御父さんの云ふ事は少しも耳には入らず、どうしても最後迄戰ふと云ひました。けれども御父さんは、どうしても連れて歸ると云つて聞きませんでしたが、幹部の人達が色々と云つて下すつたので、やつと得心して歸りましたから、私も御父さんが得心して歸つたものと安心してゐましたら、又十九日に面會に來ました。ですけれど之も皆會社の甘言に乘つて來た事なので私は前の意志を飜さず、きつぱりと歸らないと云ひ切りましたので御父さんも、もう返す言葉もなく默つて遠い岡山に歸りました。私の心持が父によく理解されて歸つたのかと思ふと本當に嬉しくなりました。

父の手紙

竹内キヌエ

私達が勇敢にあの鐘紡を脱出して爭議を始めて以來勞働組合に理解が出來鬪爭が正しいと云ふ事が分つて來たが、唯一つ心配なのは、國の親が私達の行動を誤解して呉れなければよいがと其ればかりを心配して居ました。そして、或る日には鐘紡の僞瞞の言葉にだまされた親に連られて歸る人を見る度に益々心配がつのつて來るのでした。親が來たらきつぱりと鐘紡の惡い事を説明して理解を求める樣にしようと考へて居ると、突然に幹部の人が御便りと云つて渡された手紙を受取りふるへる手で開封して

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

一行々々と目をうつして行くと『御前もそうして寄宿を出た限りはあく迄も戰はねばなりませんよ今更裏切つては世間へも體裁が惡いし、今迄辛棒した甲斐が無いから皆と力を合せて身を大切にしてなるべく早く解決がつく樣につとめなさい』と書いてありました。私は小をどりせんばかりによろこびました。それからは、安心して元氣に愉快に此所に五十日と云ふ鬪爭を續ける事が出來ました。

飛び出した日

臨園トミ子

花爛漫と咲き亂れ、世の荒波を知らない人々は歡樂の夢に浸つてゐる時、鐘紡は突如私達の頭上に四割減給と云ふ横暴な賃金値下を行つたのです。其の時私達の胸にあまりに勞働者を見縊つた資本家に對する怨と復讐の炎は一時に燃え上つたのです。そして四月十日を期し『四割減給絕對反對』を叫びつゝストライキの第一線のトップを切つて青龍館へ引上げたのです。寄宿舍をいよ〳〵引上げる時、寄宿係や人事係は青い顏をして私達を引止め樣としましたが、溫情主義家族主義にだまされて居つた事を知つた私達は彼等の云ふ事も耳にも入れず、そして最後迄戰ふ事を心に誓ひ、泣んばかりに賴む彼等を尻目に掛けて勇敢にも表門から飛出したのです。堂々と四列に並んで勇ましく引上げた時の思ひは、一生忘れられない胸のすく思ひ出です。

我等は目覺めた

手打文子

私たち淀川從業員が階級的鬪爭戰塵へと奮ひ立つて早くも四十有餘日間は、惡戰苦鬪の內に經過しました私たちは今まで溫情主義、家族主義の美名の下に欺瞞され、搾取されて來ました。そしてより以上搾取しようと思つて、今度四割も減給したのであります。羊の如く從順にしたがつてゐた私たちもそんな無謀極る事にはが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

まんが出來ません。そして、あの一九三　年四月十日、勇敢に、最後まで戰ふと固く誓つて寄宿を出て來た時は、會社は我々の固き結束などはおそらく豫想してゐなかつた事でせう。『今ぞ我々がよき敵を見つけた。ブルヂョアを逃してはならぬ。プロレタリアの爲に戰ふ時は來た』と私は踊り上りました。この爭議がはじまつて初めて、我々婦人勞働者には立派な權利がある事を自覺し、又ブルヂョアはみんな私たち勞働階級の敵であると言ふ事をハツキリと意識しました。この戰に我が同志たちが、勇しく活動してゐる有樣を見た時、私もぢつとしては居られませんでした。『そうだ。出來ない乍らも演壇に立つて、惡資本家鐘紡の溫情主義の欺瞞を民衆に訴へて、勤勞無產階級の生活權擁護の爲に』と固く決心致しました。最初のうちは演壇に立つた時聽衆の視線がみな自分の方にあるので、嬉しいやら、恐いやうな氣が致しました。併し、二回三回と重ねて行く內に、だん／＼馴れて來ました。聽衆の前に立つのも平氣になりました。私が非常に嬉しかつた事は、京都爭議團同志の處へ、赤松常子樣と、富子樣と三人激勵に行つた時家庭をもつた通勤の人たちが、子供をかゝへてゐながら『一致團結して最後まで、固く手を握つて戰ひませう。』と言つた事が嬉しいでした。今後この爭議が何日續かうとも、最後の勝利を得るまで如何なる迫害をも突破して戰ひます。

私達は戰ふだん

岩本キクヱ

鳴呼思ひ起せば、四月十日、私達は四割減給反對の爲炎の樣な心を抱いて、勇ましく全鐘紡のトツプを切つて、此處に城をきづいてより、私達は惡戰苦鬪の戰を續けて來ました。毎日々々橫暴極る鐘紡を相手に戰つて居る私達の胸には、以前と變る反抗心は日々に增して行き、次第／＼に强固に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

なりました。私達を餓死させようとする、鬼紡の假面をはぎ取つて私等の人格的價値を見せてやりましよう。私達は何も無理な事を言つて居るのではありません。唯生活權擁護の爲に戰つて居るのです正義の前に何の恐れもないのです。私達は堂々と死守すべき赤々と紅の血に染まつた組合旗を先頭にして、固く／＼此の城をまもつて行く事を決心して居ます。私達は戰ふんだ。最後の一人になるまであの資本鬼主義をたゝきつけて私達勞働者の世の中にしましよう

（三三頁の續き）

生命を刻むかの如く闇に響いた。母は不安げな瞳を娘の瞳に投げて

病人「お母さん／＼。苦しい／＼」（體をこねる）

病人「お母さん／＼……」

母「如何したの靜やお母さんですよ…」

病人「あゝお母さん…妾もう…」

母「何を云ふのです。何を靜や、…靜や…靜…（娘の體をゆする）

病人「（微かに）お母さん…」

母「えゝこれ…「あゝ死…死んだ娘が死んだ。妾の可愛い娘が……

（工場のエンヂンの音が流れて來る呪ふ樣に）

母「あゝあの音があの音が妾の娘を喰つたのだ。殺したのだ。あゝ娘を返して下さい。娘を…（母は遂に狂人となつて仕舞つた）

母は狂人となる。

母（やがて起ち上つて舞臺をうろつく）「ヘツハア、、、娘が、、踊つてゐる／＼美しいな…」次第に怒つて來る）

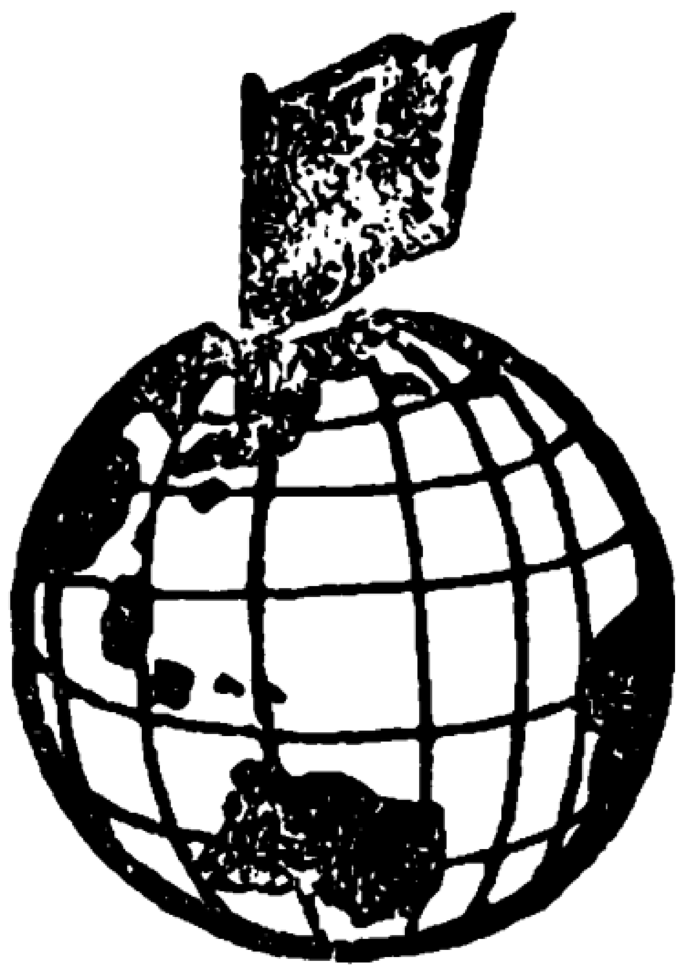
畜生會社の嘘つき。妾の娘を殺したのだ一人娘を會社の嘘つき…人殺し…畜生…惡魔…（狂ひ廻る）

幕

× × ×

× × ×

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF IOWA



鐘紡争議片々（一）

赤松常子

驚いたこと

温情主義の欺瞞政策の行き届いてゐる事には、一つ〳〵呆れ驚かされた。その例を一つ二つ記して見やう。

『鐘紡工場は他の工場とは桁が違つて優良だ。他の工場に働く人は勞働者だが、鐘紡に働く人は勞働者ぢあない。田舍から鐘紡王國に修養に來てゐると思へ。普通の勞働者に近よつてはならん。

給料も他の工場がどんなに値下げしやうとも鐘紡には永久に値上げこそすれ、値下げはしませんぞ』この言葉が入社後第一に人事係長から聞かされる有難い御言葉だ。だから修養に來てゐるのだから、男工を男子、女工を女子と呼ばせ

遙かなる同志より

◇

御姉様方皆様に御挨拶申上ます。此頃は大層暑くなりました。私は昨晩御父さんから御姉様達の御話を聞かして頂きました。御姉様達は毎日〳〵惡い資本家と一生懸命に戰つて居るそうでありますが、どうか負けないで下さい。一日も早く勝つて下さい。私は御姉様達が病氣をしない様に御禱りして居ります。御母さんから貰つた小使が少しばかりたまりましたから御送り致します。どうか使つて下さい。御姉様方ばんざい！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

決して勞働者扱ひをしない。こゝで勞働者自身が勞働者を卑む妙な心理を先づ植えつける。
　私も最初女工宿舍で御話をする時『私共女工階級は……』と云つたら、後で幹部の人が
『恥かしい話ですが、女工女工と云はれるのを自尊心をきづゝけられる樣に思つて大變嫌がつてゐるのです。そんな事ではいけないし、それを打破しなければならないのですが、その邊の事を含んで置いて下さい』と云はれて『成程』と感心した事であつた。で寄宿舍の旅行の際なども『××縣女子師範學校生徒』と銘打つて歩くし、服裝なども、すつかり制服の揃ひで天晴れ『モダン女工』『文化女工』と世間體を作つて、溫情主義を撒き散らすのだ。從つて、武藤山治が三百萬圓まんまと取つておき乍ら、その穴埋めでもするかの樣に四割も給料を引下げやうとする會社に對する恨みは益々つのつて來ても、『だから搾られた私共女工が起つて戰はねばならない』と云ふ事のはつきりした意識は一寸飲み込めない樣であつた。
　しかし、一寸口火がついたが早いか、思想の轉換は仲々早かつた。『一番欺され虐げられてゐた者が

東京府下吾嬬町　大越ヒサ子
（爭議資金として切手が八十錢同封して來ました）

◇

熱誠なる姉妹さま。
憎んでも〳〵なほ餘りある慘酷なる資本家の行動に對し、固く〳〵團結してあく迄戰つて下さい。正義に敵する何者がありませう。永遠に輝く大勝利の旗を目ざして强く〳〵戰つて下さい。私達も岳南の地より大勝利の一日も早く來らん事を祈つてゐます。

紡織沼津支部　阿部すぎゑ
有馬　さだ

◇

まだ一度も御面會も申上た事はありませんけれども、本當に皆樣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

又一日起ち上つたら一番よく敵を知り戰ふものだ』から……。

■痛快であつたこと■

いざと云ふ場合に、會社の御用心棒となる爲に、平常から丹念に仕立上げておいた修養團が、今度の爭議には、完全に會社を裏切つて爭議に參加したのであつた。『不平を云ふな。働け働け』と教へ込まれてゐた修養團をも尙怒らすに充分だつた殺人的暴擧の四割減給だつたのだ。いくら溫情に馴れ、不滿を飮みこらへてゐた修養團をも、遂に爆發させるに至つたのだ又、『正義を愛する』思想が一脈相通じて、『不正義を打倒せ』の旗印の下に走せ集つたのだ。個人的正義感が、社會的正義感に發展したのだ。男工組にも女工組にも、修養團の主な幹部は、爭議の中堅となつて、隱れた困難な部署を守つた。例へば病室係、炊事係等、實に忠實に實行されたのだ。久しく爭議の進行するにつれて、内部の統制の如何は、又志氣に影響する事極めて夥しい。修養團の人々がこの點に大いに力を至した事は、皮肉と云はうか、痛快と云はふか私は考へさせられる幾多の興味を投げられたのであつた。

■■

を賴もしい方だと御慕ひ申して居ります。御話を聞けばまだ年若い女性の方が元氣溢るゝ中に、よく統一し整然と戰つてゐらつしやる由、私は皆樣と同じ女工の身として何卒今度の爭議に打勝ち下さる樣にと祈つて居ります。正義は勝ちます。邪は一時榮ゆるとも、終りの勝利者は正義であります。皆樣の中には遠方の方もありませう。故郷にはなつかしい御兩親や兄妹を待つてゐられる方もあるでせう。然し生活權擁護の爲には是非共一人になる共戰つて下さい。力盡きて刄折れて倒れても、今回の戰こそは、皆樣方が本當に眠れ

もう一つ。某縣出身の爭議團員愛子さん(假名)の父兄は、社會民衆黨員だつた。勿論會社は父兄の手を借りて、切崩しに使ふ手段だつたので、この黨員もそしらぬ顔をして會社に出頭した。そして會社の内情作戰は、巧妙な方法で、この黨員からその前日〳〵に爭議團へ知らされた。爭議團では會社の先手を打つて、防戰の準備が出來、會社の裏をかいてやつたのだ。地方に農民組合の組織がある方面や、無産政黨の進出してゐる地方の出身者は、やはり階級的意識もはつきりしてゐて、最後迄踏みとどまつた。農民組合員の父兄は

『しつかりして戰つて呉れ。爭議中の小使は俺が出してやるよ』

と五圓置いて娘を勵まして歸つた位である。隨分猛烈な切崩しに毎日防戰しつゞけてゐる私共にとつてこうした父兄の言葉は、本當に何物にも代へられない力强さを與へた。紡織運動はどうしても地方の農民組合と共同闘爭しなければならぬ事を、更にこの爭議で敎へられた。(つゞく)

る社會に、又我利〳〵亡者資本家共に與へる一大鐵鎚なのであります。終りに皆様の御健闘を祈ります。

△△地方專賣局　南木夏子

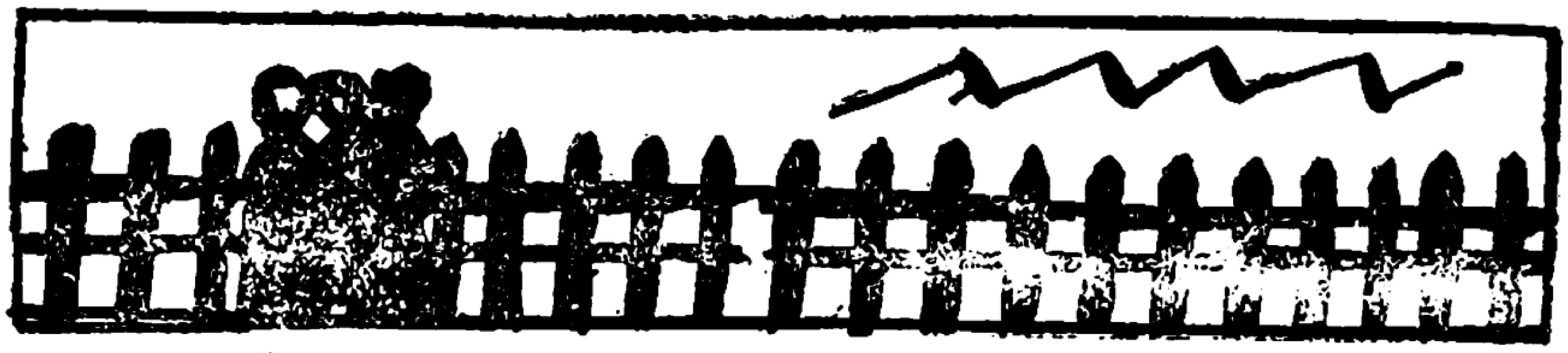
戰のうた (メーデー歌の譜)

濱田富子作

(一) いざや同志よ戰はん
鐘紡王國敵として
何等怖るゝ所なく
いざ勇ましく戰はん

(二) 一糸亂れぬ歩調にて
結束力を武器として
あの憎むべき鐘紡を
木葉みじんにつぶすまで

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA



◇戰へる友の姿◇

女工宿舍を訪ねて

電線工組合　伏水しん子

失業。賃金値下。解雇と不景氣な世の中をまだ／＼不景氣にし、私達の頭上を脅かし、不安な生活をして居る時に、突如として發表せる鐘紡の減給案。しかも四割だ。常に家族主義を稱へて居つて、何が溫情主義だ。此は單に鐘紡のみの問題ではなく、全無產階級に反映する重大な問題であるから、是非この爭議には勝つて貰はねばならぬと思つて、女工合宿所を訪れた。同志の元氣な事は、私を有頂天にしてしまつた。炊事係の人は一生懸命に働き、他の人は大聲で勞働歌を練習したり一方の方では、パンフレットを讀む人もあり演說の練習をする人もあり、編物をし乍ら御話しを合つてゐる人もあり、一糸亂れずに整然としてゐられる。夜は官業勞働總同盟の有志の方の演藝團が慰問に來られて同志を慰められた。最後に同志の中から代表者が出て

『私共の爲にわざ／＼慰問して頂いてありがたう御座いました。私共は溫情主義の假面を剝ぎ取り、鐘紡の正體を社會に曝露して今後益々階級戰に進む事を誓ひ、今日の御厚志に報ゆる御挨拶と致します』

と云はれた。今迄は勞働組合にも加入せず何にも知らなかつた姉妹が、かくも揃つて自覺して生長されたのだ。私は激勵に行つてかへつて自分自身鞭うたれて歸つた。

『姉妹よ！勝つて下さい。健在で戰つて下さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

い』と祈りながら……。

メーデーにて

大阪紡織綿支部　山田三三子

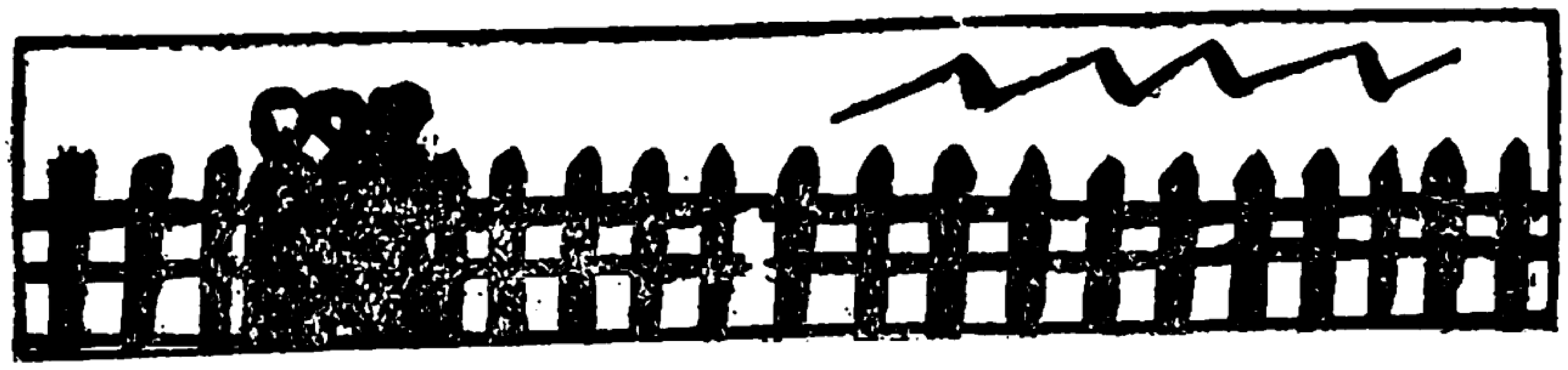
今年のメーデーで一番先に目に付いたのは勞働總同盟の旗の多い事と、鐘紡の爭議團でありました。鐘紡一千の同志達は雨の降る中をものともせず、正々堂々と男工は白い工場服、女工は黒の工場服で、揃つて組合旗の下に行進を進め氣勢をあげました。私は思はず涙が頬を傳ひました。『これ程迄に爭議團は整然と團結してゐるのだ。あの武藤山治をきつと負かして見せるぞ』と頼もしく思ひました。そして勞働者の偉い強い力をしみ〴〵と知りました。私は隣の同志に云ひました。

「今日は私達勞働者の一年に一度の祝祭日です。今日はたとへ雨にぬれ樣が倒れ樣が組合旗と共にぬれるのだ。倒れるのだ。鐘紡の同志達の事を思へば何でもない事だ』と語りつゝ歩む道筋には、あまたの警官が物々しく警戒してゐる。この警官を見て私の頭に浮んだ事は

『今日の私達は、昔で云へば御殿樣の行列だ

今日こそは勞働者は天下の御殿樣だ』

と云ふ事であつた。私は友にこれを云つて笑つた。歩きなれない私等は、寄宿へ歸つて横はると朝まで一眠りであつた。



同志のこの應援

大阪紡織綿支部の同志は、實に絶大な應援を惜しまなかつた。花屋敷班の炊事は一切引受けて、晝勤夜勤の姉妹は交代で、二百人の炊事に立働いた。女工合宿所にも交代で慰問激勵に來られた。最後の入場式には二百人の姉妹が會社の正門迄送つた。綿支部の同志の眞心には何と感謝していゝか言葉がない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

機械の蔭にて

◇　◇

國に居る時噂を聞けば
大阪鐘紡は良いところ
來て見れや噂と丸きり違ひ
あんまり工場の嚴しさに
山田さんの前にと兩手をつかへ
歸して頂戴山田さん
云へば山田さんにつこり笑ひ
膝を叩いて申すには
辛棒せよ〳〵辛棒さへすれば
三年滿期の曉にや
どうせ一度は東洋丸に
乘せて歸すよ我が故鄕
云はれて泣く〳〵御部屋へ歸り
御部屋の欄に取りすがり
遠く遙に故鄕を眺め

鐘紡爭議團

女工宿舍

日記抄

四月二十二日

◇社會民衆婦人同盟大阪支部準備會の八谷光子尾崎高子さんが激勵に來られた。鬪爭資金第一回分として百八十三圓餘贈られた。又ラヂオを寄贈して下すつた。

四月二十五日

◇昨日無理矢理に御父さんに連れて歸られた乾よしゑさんは、どうしても同志の事が忘れられず、遂に意を決して家を脫走して再び我等の陣營に歸つて來た。萬歲の凱歌上る。

四▼二十七日

◇反動團體國粹會が、會社支持のビラを爭議團に撒きに來たので、警備隊が活躍して追ひ拂つた。

四▶二十八日

◇鐘紡京都爭議團激勵の爲赤松常子、濱田富子、手打文子出發。

◇總同盟尼ケ崎聯合會久保田支部の同志から鬪爭資金八十圓十四錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

『父さん母さん許してよ』
親の御意見そむいた私
今は鐘紡で苦勞する。

◇駐山田さん（人事係）東洋丸（四國通ひの一等船）

◇　◇

母さん會社はいやですよ
色は青なる身は痩せる
胸に心配絶えまなく
末は肋膜肺となる
會社へ來る時よかつたが
國へ歸る其際は
五尺體は桐の箱
郵便小包送られる
死ぬる私はよけれども
あとに殘りし二親は
桐の箱にと手を合せ
南無阿彌陀佛の血の涙

集つたとの報せに、合田マツヱ、川尻キミ子代表で受取りに行き、感謝の辭を述べて歸つた。

四月三十日

◇兵庫工場無慘にも裏切大衆黨坂本の爲に慘敗の報來る。しかし我等の闘志は反動的に高まり最後の日迄最後の一人迄の團結を誓つた

五月四日

電線工組合から二十名の同志が白米二十俵を引つぱつて應援に來られた。伏水しん、金川はつゑさんの激勵があつた。

五月十日

『闘爭三十日突破デー』だ。茶話會を開いて一ケ月前の今日の思ひ出に一同更に勇躍して前進する事を誓ひ合つた。

五月十四日

父兄、切崩し策は、又新手を加へ宿舍に殺倒しはじめた。『一人つれて歸れば三十圓やる』と云ふ會社の手にあやつられて來るのだ。
一人の裏切者も出ない。

五月十五日

午前十時女工分宿所一同府廳に押しかけ、田中特高課長藤原警察部長に逢ひ、會社の切崩策に對する官憲の協力に抗議し、大示威を行ひつゝ引上げた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

鐘紡ゴシップ

淀川名物は菜葉の煮物

『今日も 菜葉だ。明日も菜葉だ』と菜葉菜葉の御かずで、青い顔をしてゐるのが鐘紡淀川の勞働者だ。夏になると御互ひに

『蔭に入りなはれや。しなびて倒れるわ』

といたわり合ふ。

馬鹿〱しい事

去年の秋武藤山治が、社長の椅子から取締役の椅子に乘り代へた丈の事で三百萬圓と云ふ慰勞金—皆勞働者が溜めてやつたものだ—を取つて社長を止めたが、其時、舍監から

『武藤さんに、社長を止めないで下さいと云ふ引止めのお願ひの手紙を皆で書け』

と云はれて、眞正直に寄宿舍一同はその通りかいて三錢張つて出したものだ。あゝ馬鹿〱しい。

もう一つ

これも去年のこと。

『今日は大事な方を拜ましてやるから綺麗に片付けとけ』

との御ふれだ。誰だと思つたら、武藤社長夫人、津田工場長夫人、人事課長夫人達がペカ〱御めかしゝて—それも皆勞働者が作つてやつたのだ—女王の樣な行列だ。其時は有難くて頭も上げなかつたがあゝ馬鹿〱しい。

『どじよう掬ひ』

汁の實を箸でさがす事をこう云ふんです。めつたに實は引かゝらない。どこまでも充分に喰はさないで働かせようとするんです。そこで安全週間の標語は

『仕事十分に、腹八分』

その通り。いつも私達はペコ〱の空腹です。

日數と人員

鐘紡淀川、京都兩工場の爭議は、日數五十三日間、罷業延人員數は約八萬二千五百人だつた。

戯曲 母は狂ふ

……『闘争五十日突破デー』に自作自演した……花岡しげ子

人物

母

女工靜子（母の娘）

女工の友達 A

B

看護婦　一人

醫者　一人

ソプラノ歌ひ手　一人

時　五月の半ば、プラタナスの葉が輕く初夏の微風にゆらぎ、若人の胸に心に美しい緑の衣をあびせてゐる日の夕。電燈の光が薄明るく室内を照してゐる。

所　會社内の病院の一室。一つのベットが片隅に置かれ其の枕元から一寸左の隅におしつけてボックスがある。其の上に藥瓶と書籍が二三册積んである。一輪さしが淋しい室内に明るき色彩をはなつてゐる。其のベットの左側に椅子一つ。工場のエンヂンの音がうなりつゝ微かに聞えて來る。病み衰へた一人の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

乙女が其の青白い肉の落ちた顔を孤燈の下に置いて、一人の看護婦は白い服のまゝ枕元の所で其の面ざしをジツト見つめてゐる。乙女の髪は亂れてゐる。友達は右側に並んで立つて物憂げな瞳を慘めな病める友の頬へ投げてゐる。

友のA「ねえ—靜ちやん御氣分は如何？昨日よりは少し熱も下がつてゐるわ。氣を落さないで確かりして頂戴ね」

病人「有難う…」

友のB「靜ちやん。お母さんに會ひたいことはない。電報を打つて見ませうか？」

病人「いゝえ。宜しいわ。お母さんが……」

何のショックを受けたのか靜子は顔を横に其の力のない瞳をしばたゝいてゐる。

看護婦「お家のことなど心配してはいけないのよ。誰でも淋しいわ。私かつて何時も貴女とお話してゐる様に私の家庭なんかもつと／＼慘めですのよ。貴女はたゞお父さんがないだけでお母さんから大變可愛がられてゐるもの。私など第一お母さんが……」

玄關でベルが鳴る。友のBが行かんとするのをおさへて、看護婦が出て行く。やがて彼女の母が半ば失神したかの如くよろめきつゝ其のベツトに近付いて來る。後から看護婦が指を前で組合はせてついて行く。

母「靜ちやん…靜…靜や…」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA

病人は目を重く開く。ひどく驚ろいた樣子。

病人「あゝ…お母さん…」

母「靜子…お前はまだ息があつてくれたのか…嬉しい。お母さんは嬉しい。今日會社から「キトク」の電報が來たのでお母さんは飛んで來たのです。心配おしでないよ。いゝもう大丈夫。きつとお母さんが治して上げますからね。お前が今死んだら…死んで仕舞つたら…お母さんは如何なるんです。たつた一人で誰れを頼りに暮しませう。やれ〱お母さんはもうお前とは會へないと思つたよ……皆樣。色々娘がお世話になりまして有難う御座いました。」(椅子にかける)

友のA「いゝえお母さん。本當に同情しますわ。こんな體になる迄通知しないなんて會社は本當に人を馬鹿にしてゐるわ」

母「私も實はそれをうらんでゐるのです。最少し早く知らして呉れたら私の方に引取つて介抱するんでしたけれどね」

友のA「以前から靜ちやんと相談して私電報を打ちませうかと云つても、お母さんが心配するからつてね。如何しても敎へて呉れなかつたのです」

病人(細い聲で)「お母さん……」

母「えゝ…如何したの。氣分が悪いの?……」

娘はやせ細つた手をさしのべた。母は慈悲深い手で病人の手を固く握りしめた。寸時重苦しい沈默が

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA

續く。病める乙女の腦裏には今溫き母の手に抱かれて樂しかりし幼時の幻を畫き、優しき母の子守唄を思ひだすのだつた。

ソプラノ「幕の中で子守唄を唄ふ」

『…ねんね…ねんね…坊やの夢に…』

病人「お母さん……私もう駄目です。昨べ夢に亡くなつたお父さんのお顏が浮びました。今のあの子守唄が最後の子守唄かも知れません…」

母「何を云ふのです……氣を丈夫に持つて下さい！お母さんが來たから大丈夫ですよ」

病人は靜かに目をつぶつて眠らんとする。友のB母に向つて

友のB「あのねお母さん。私靜ちやんと同じ所で働らいてゐるんですわ。其處の責任者がとても鬼みたいな人でね。病院にも容易にやつて呉れないのです。で靜ちやんかつて小さい女心で『病院にも行かずにこんな染料くさい埃のする所に居てはとても體が續かない』かう言つて人事係の所に轉科させて下さいつて行きましたのよ。でも人事係は其れを聞いて下さらないし、靜ちやんも私の所に來て……

『使はれる者は本當に辛いねつて』皆目をしばたゝいて泣いてゐる。

母「會社つていゝ加減なものですね。募集する時は私達貧乏人を金でだまして、可愛い娘を使はれるだけ使つた揚句病氣になれば目もあてないなんて、あんまり會社のやり方はひどいですわね」

友のA「本當に資本家といふ奴は無智な私達田舍娘を僅かな金でだまして、體裁のいゝ言葉で私達を使つて

ゐるのです。さあ病氣になつたからつて快く病院にはやつて呉れないし、入院してこんな體になつても高砂の保養院の方へは廻しては呉れない。で食事など八張り働く人と一しよに半搗米を食べさせて、之でもまだ溫情主義だとか家族主義だとか言へるでせうか。世間には體裁のよい言葉を使つて其の裏面ではとても慘めな事ばかりですのよ」

ソプラノ婦人勞働歌を唄ふ(幕の中で)

「……永く虐げられし、婦人よ奮ひ立て可弱き者をしばる鎖を斷たん我等は婦人の戰士組合旗の下に……」

友のB「お母さんあれを聞いて下さい。あの歌は此の私達勞働者に目醒よと歌つてゐるのです」

皆靜かにそれを聞く。一節歌つて醫師登場、母親がついて椅子を立つ。

母「先生。色々娘がお世話になりまして……」

醫者「貴女が此の娘樣のお母さんですか……」

母「左樣で御座ます……」

醫者「あゝそうですか(輕く病人の手を握つて脈を取つて)氣分は如何ですか。昨日と變りは有りませんか?」

病人(輕くうなづく)

醫者「そうですか」(手を離す)

母「娘の病氣は如何でせうか……」

醫者「(少しあはてゝ)いや〳〵別に大したことはないんですが少し心臟が弱つてゐるんでね。御大切に」

醫者退場。夜が更ける。初夏の夕が刻々として暗黑の中へ……柱時計が十二時をさした。(十九頁へ續く)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF IOWA

勞働宮の建設へ!!

日本勞働會館建設寄附金　第十九回報告

前月越高　金二萬七千八百五十二圓三十八錢也
本月受高　金七百〇五十錢也
累計　金二萬七千九百二十二圓八十八錢也

（氏名詳細日本民衆新聞參照）

新雜誌『勞働經濟』

生れ出た唯一の無産階級經濟雜誌

創刊號　七月一日發

主なる記事

▲鐘紡大會戰記
▲賃下よりも減資讚成せよ
▲武藤山治氏の横顔
▲英國勞働黨の惱み
▲公設質屋の活動狀態
▲紡績操短擴張と勞働者への影響
▲其他内容豐富

一部三十錢　早く讀め？

發行所　東京芝三田四國町二
勞働經濟社
振替東京一四一四九

本部婦人部より

◇本號は『鐘紡闘爭號』と致しました。早く發行したいと思ひつゝ、こんなにおそくなりました。御許し下さい。何にせ編輯者が五十日も戰線にゐたものですから。

◇引つゞき次號は豫定の通り發行致しますから何卒ニュースを、通信を、それぞれの部署から送つて下さい。切に御願申上ます。

昭和五年四月二十九日印刷
昭和五年六月十日發行
〔定價二十錢〕

第三一冊

編輯兼發行者　松岡駒吉　東京府荏原郡荏原町四八九
印刷者　小澤正太郎　東京市京橋區木挽町十二
印刷所　永進社印刷所　東京市京橋區木挽町十二
發行所　日本勞働總同盟本部　東京市芝區三田四國町二　電話三田〇四三六番　振替東京三一五七番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA